

平成 28 年度 環境省 食品リサイクル優良事業者調査業務

調査報告書（概要）

全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会

1 調査業務の目的

平成 28 年 1 月に、食品リサイクル法 第 11 条の登録を受けた登録再生利用事業者による食品廃棄物の不適正な転売事案が発覚した。類似の事案の再発防止策（※）の一環として、国による登録再生利用事業者に対する指導監督を強化するとともに、優良な廃棄物処理業者の育成・拡大を推進していくこととしている。

※「食品廃棄物の不適正な転売事案の再発防止のための対応について（廃棄物・リサイクル関係）」について（平成 28 年 3 月 14 日報道発表資料）

<http://www.env.go.jp/press/102227.html>

本業務においては、食品リサイクルの優良な事業者の育成・拡大に資するため、食品リサイクルの優良事業者に関する調査を行う。

2 調査業務内容

- 1) モデル事業者の選定調査
- 2) モデル事業者等からのヒアリング調査
- 3) 食品廃棄物の転売防止に関する優良事例収集調査

3 調査報告（概要）

1) モデル事業者の選定調査結果報告の概要

同業者ヒアリング、外部ヒアリングの結果、以下の 2 者が選定された。



㈱日本フードエコロジーセンター（神奈川県・相模原市）

【飼料化事業者】登録再生利用事業者





㈱三功（三重県・津市）

【肥料化事業者】登録再生利用事業者

2) モデル事業者等からのヒアリング調査報告の概要

全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会「以下、全食リ事務連」という。が
 定めた「優良業者育成 業界自主基準」（平成 28 年 3 月版）に従いに、現地確認チェッ
 クリストを作成し、ヒアリング調査及びモデル評価を行った結果、2 者とも優良業者育成業
 界自主基準に適合・合格した。

<p style="text-align: center;">優良業者育成業界自主基準</p>  <p style="text-align: center;">全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会 (平成 28 年 3 月版)</p>	<p style="text-align: center;">全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会 別紙5-1</p> <table border="1"> <tr> <td>地域・会社名</td> <td>湘南産業ブロック(注会員) 株式会社日本フードエコロジーセンター</td> </tr> <tr> <td>所在地・電話番号</td> <td>神奈川県相模原市中央区日産1-17-12 TEL: 042-777-6318</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>農林水産省・環境省 登録再生利用事業者</td> <td>平成27年度実績</td> </tr> <tr> <td>登録番号 44-11(更新回数)</td> <td>登録収入量 11,292万</td> </tr> <tr> <td>登録内容 飼料化事業</td> <td>飼料製造量 12,523t</td> </tr> <tr> <td>農家割合 95%以上</td> <td>飼料製造効率 12.52%</td> </tr> <tr> <td>農産物削減率 39%(注)</td> <td>※ 削減のA、削減率・削減量は5.6</td> </tr> </table>  <table border="1"> <tr> <td>飼料適合情報-認証</td> </tr> <tr> <td>飼料適合情報</td> </tr> <tr> <td>飼料製造施設 F1(原料A(エコフード認証 29認証13号))</td> </tr> <tr> <td>製品販売先 安房養豚事業者(農業高校等) (02年度後-14戸)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>食品関連事業者・再生利用事業者・農林漁業等の取組み(再生利用事業計画の認定)</td> </tr> <tr> <td>平成28年3月現在</td> </tr> <tr> <td>平成27年度実績</td> </tr> <tr> <td>平成26年度実績</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>飼料化施設の特長</td> </tr> <tr> <td>施設設備</td> </tr> <tr> <td>製品分析検査</td> </tr> </table>	地域・会社名	湘南産業ブロック(注会員) 株式会社日本フードエコロジーセンター	所在地・電話番号	神奈川県相模原市中央区日産1-17-12 TEL: 042-777-6318	農林水産省・環境省 登録再生利用事業者	平成27年度実績	登録番号 44-11(更新回数)	登録収入量 11,292万	登録内容 飼料化事業	飼料製造量 12,523t	農家割合 95%以上	飼料製造効率 12.52%	農産物削減率 39%(注)	※ 削減のA、削減率・削減量は5.6	飼料適合情報-認証	飼料適合情報	飼料製造施設 F1(原料A(エコフード認証 29認証13号))	製品販売先 安房養豚事業者(農業高校等) (02年度後-14戸)	食品関連事業者・再生利用事業者・農林漁業等の取組み(再生利用事業計画の認定)	平成28年3月現在	平成27年度実績	平成26年度実績	飼料化施設の特長	施設設備	製品分析検査	<p style="text-align: center;">現地確認チェックシート</p> <table border="1"> <tr> <td>調査対象事業者</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査者</td> <td>確認日時</td> </tr> <tr> <td>調査対象事業者</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査者</td> <td>確認日時</td> </tr> </table> <p>1. 現地確認</p> <table border="1"> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> </tr> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> </tr> </table> <p>2. 適合</p> <table border="1"> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> </tr> <tr> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> <td>調査項目</td> <td>調査結果</td> </tr> </table>	調査対象事業者	調査項目	調査結果	調査者	確認日時	調査対象事業者	調査項目	調査結果	調査者	確認日時	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果	調査項目	調査結果
地域・会社名	湘南産業ブロック(注会員) 株式会社日本フードエコロジーセンター																																																				
所在地・電話番号	神奈川県相模原市中央区日産1-17-12 TEL: 042-777-6318																																																				
農林水産省・環境省 登録再生利用事業者	平成27年度実績																																																				
登録番号 44-11(更新回数)	登録収入量 11,292万																																																				
登録内容 飼料化事業	飼料製造量 12,523t																																																				
農家割合 95%以上	飼料製造効率 12.52%																																																				
農産物削減率 39%(注)	※ 削減のA、削減率・削減量は5.6																																																				
飼料適合情報-認証																																																					
飼料適合情報																																																					
飼料製造施設 F1(原料A(エコフード認証 29認証13号))																																																					
製品販売先 安房養豚事業者(農業高校等) (02年度後-14戸)																																																					
食品関連事業者・再生利用事業者・農林漁業等の取組み(再生利用事業計画の認定)																																																					
平成28年3月現在																																																					
平成27年度実績																																																					
平成26年度実績																																																					
飼料化施設の特長																																																					
施設設備																																																					
製品分析検査																																																					
調査対象事業者	調査項目	調査結果	調査者	確認日時																																																	
調査対象事業者	調査項目	調査結果	調査者	確認日時																																																	
調査項目	調査結果	調査項目	調査結果																																																		
調査項目	調査結果	調査項目	調査結果																																																		
調査項目	調査結果	調査項目	調査結果																																																		
調査項目	調査結果	調査項目	調査結果																																																		

優良業者育成業界自主基準

情報公開シート

現地確認チェックシート

審査人評価コメントの概要

1 (株)日本フードエコロジーセンター（神奈川県・相模原市）飼料化事業者

同社は、排出事業者、リサイクラー、養豚農家等の連携によるリサイクルループの構築は非常に先進的であり、「再生利用事業計画」は3件認定されており高く評価する。

ガイアの夜明けやNHKを始め、食品ロスをテーマにした報道番組の取材を受けエコフイード事業の先駆者として業界をリードし、食リ業界のイメージ向上に大きく貢献している。施設見学者も多く情報公開に積極的であり受け入れ体制も構築されている。

2 (有)三功（三重県・津市）肥料化事業者

臭気対策等は十分に配慮されており、周辺環境への影響も生じていない。書類の保管も問題ない。早くから食品リサイクル、食品リサイクルループに取り組み、大学との共同研究により堆肥品質の改善に努められ高く評価されるものと考えます。

肥料化施設の食リ事業と、農業（酵素の里）の小売事業を連携して行い、排出事業者ユニー(株)と食品リサイクルループを形成し、肥料品質では日本土壌協会のFR認証第一号を取得し食リ業界をけん引、常に先見性をもった経営方針を打ち出している。

3) 食品廃棄物の転売防止に関する優良事例収集調査報告の概要

全食り事務連会員を対象に不正転売緊急アンケート調査を行い、転売防止に対する会員の優良事例策を取りまとめた。



事例1 委託契約書及びマニフェストの適切な事務管理（整理整頓）

事例2 飼料製造業務管理規則による適切な業務管理

事例3 当日処理の原則と効果的な原料管理

事例4 資源分別教育訓練と食品廃棄物の冷蔵保管

事例5 インターネットによる処理現場の見える化（ライブカメラ）

事例6 人材育成の推進（処理業従事者資格検定）

まとめ 食品リサイクル業界全体としての取組み（全食り事務連）
パネルディスカッション「適正価格を考える。」からの提言について
（第7回通常総会・研修会）平成28年5月

